

○水生生物モニタリング調査結果一覧（はやま湖G）

<はやま湖G 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
G-1	○	○	○	○	○	○
G-2	○	○	○	—	○	—
G-4	○	○	○	—	○	—

<はやま湖G 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
G-1 (表層)	37.7348°	140.8102°	R3.10.25	10:50	11:05	16.9	12.7	泥	7.5Y3/2	植物片	3.4	2.5		
G-1 (下層)						12.6								
G-2 (表層)	37.7267°	140.8223°		09:30	09:40	17.0	16.9	礫、砂泥	7.5Y3/2	植物片	7.3	3.0		
G-2 (下層)						16.8								
G-4	37.7382°	140.8035°		12:20	12:40	11.0	11.0	砂	7.5Y5/3	なし	0.5	>1.0		

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
G-1 (表層)	37.7348°	140.8102°	R3.10.25	10:50	7.2	1.2	3.6	8.5	7.2	0.04	1.7	2	2.0	N.D. (0.0014)	0.013	—
G-1 (下層)					7.2	0.5	3.2	8.6	7.5	0.04	1.7	2	1.5	N.D. (0.0014)	0.0079	0.00067
G-2 (表層)	37.7267°	140.8223°		09:30	7.3	<0.5	3.2	8.1	7.6	0.04	1.7	2	1.7	N.D. (0.0015)	0.0098	—
G-2 (下層)					7.2	0.5	3.3	8.2	7.7	0.04	1.9	2	1.7	N.D. (0.0016)	0.014	—
G-4	37.7382°	140.8035°		12:20	7.5	<0.5	2.2	10.8	7.5	0.04	1.0	2	0.8	N.D. (0.0014)	0.0052	—

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
G-1	37.7348°	140.8102°	R3.10.25	11:05	7.2	187	33.7	6.1	7.9	2.612	2.8	6.7	32.4	19.8	27.1	11.2	0.16	9.5	27	700	1.6
G-2	37.7267°	140.8223°		09:40	7.0	150	25.6	5.2	8.7	2.606	9.3	5.5	13.5	23.1	28.6	20.0	0.083	27	22	580	—
G-4	37.7382°	140.8035°		12:40	7.8	452	26.2	2.6	2.0	2.676	0.1	2.2	39.5	43.2	9.6	5.4	0.21	4.8	9.6	240	—

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<はやま湖G 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)									
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137										
G-1 G-2 G-3	湖内	37.7348° 37.7267° 37.7302°	140.8102° 140.8223° 140.8307°	R3.10.25	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.014	—	—	—	2.0	N. D. (2.4)	2.0	—								
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	2	0.99	成魚	不明消化物	内臓除去	44	N. D. (2.3)	44	0.78									
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	2	2.7	成魚	不明消化物	内臓除去	19	N. D. (1.5)	19	0.93									
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	2	2.4	成魚	不明消化物	内臓除去	15	N. D. (1.4)	15	0.41									
G-4	流入河川	37.7382°	140.8035°	R3.10.25	藻類・植物	—	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0040	—	—	—	70	N. D. (20)	70	—								
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	147	0.065	幼虫 (ヤゴ)	—	—	9.8	N. D. (2.7)	9.8	—									
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ																		
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ																		
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ																		
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属																		
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ																		
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Planaeschna milnei milnei</i>	ミルンヤンマ	21	0.017	幼虫	—	—	5.3	N. D. (2.0)	5.3	—									
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Parachauliodes sp.</i>	クロスジヘビトンボ属																		
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	27	0.013	未成体/成体	—	軟体部	14	N. D. (2.9)	14	—									
					軟体動物	腹足	盤足目	カリナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ																		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ										60	0.28	未成魚	—	—	8.2	N. D. (1.3)	8.2	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ										6	0.068	未成魚	—	—	13	N. D. (2.5)	13	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	カワヨシノボリ	8	0.012	未成魚/成魚	—	—	7.4	N. D. (2.8)	7.4	—									
脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0.90	成魚	空胃	内臓除去	104.2	4.2	100	—														

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。